

Release Identification: LT3517-3518

2007.12.11

リニアテクノロジー、新製品「LT3517/3518」を販売開始

昇圧、降圧または昇降圧の高電流 LED アプリケーション向け 45V、1.3A/2.3A LED ドライバ

2007 年 12 月 11 日 - リニアテクノロジーは、昇圧、降圧または昇降圧の高電流 LED アプリケーション向け 45V、1.3A/2.3A LEDドライバ「LT3517」および「LT3518」の販売を開始しました。LT3517EUF とLT3518EUF はいずれも 16 ピンQFNパッケージで供給され、1000 個時の参考単価は、LT3517EUF が 326 円(税込み)から、LT3518EUF が 356 円(同)から。また、拡張温度バージョン「I」グレードの LT3517IUF と LT3518IUF も提供しており、1,000 個時の参考単価は LT3517IUF が 391 円(税込み)から、LT3518IUF が 427 円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

LT3517/3518 ともに、高電流 LED をドライブするために設計されたハイサイド電流センス DC/DC コンバータです。3V~30V(40V まで過渡保護)の広い入力電圧範囲を備えた両デバイスは、車載、産業用、建築用の各種照明など幅広い用途に有効です。LT3517/LT3518 はスイッチ電流制限値以外は全く同じで、LT3517 は 1.3A スイッチを内蔵し、LT3518 は 2.3A スイッチを内蔵しています。

LT3518 は 12V 入力で最大 10 個の 350mA 白色 LED をドライブ可能で、LT3517 は最大 5 個をドライブ可能なので、車載ディスプレイのバックライトなど種々のアプリケーションに最適です。どちらのデバイスも 4mm×4mm の小型 QFN パッケージを使用して昇圧モードで最大 90%の効率を達成可能です。これらのデバイスは True Color PWM™調光を採用して、3000:1 以上の調光範囲で LED の色を一定に保ちます。調光要件があまり厳しくないアプリケーション向けには、CTRL ピンを使用して 10:1 のアナログ調光を行うことができます。固定周波数電流モード・アーキテクチャにより、広範囲の電源電圧と出力電圧にわたって安定した動作を行います。周波数調整ピンによって 250kHz~2.5MHz の周波数をユーザがプログラムできるので、外付け部品サイズを最小限に抑えつつ、効率を最適化できます。

LT3517 と LT3518 は LED のハイサイドで出力電流をセンスするので、降圧、昇降圧または昇圧構成が可能です。この他に、オープン LED 保護、PMOS LED 切断用のゲートドライバ、ソフトスタートなどの機能を搭載しています。

LT3517/LT3518 の特長

- 3000:1 の True Color PWM™調光比
- 1.3A、45V スイッチを内蔵(LT3517)
- 2.3A、45V スイッチを内蔵 (LT3518)
- 100mV ハイサイド電流センス

- オープン LED 保護
- 調整可能な周波数: 250kHz~2.5MHz
- 広い入力電圧範囲:3V~30Vで動作
 - 40V までの過渡保護
- 昇圧、降圧および昇降圧モードで動作
- PMOS LED 切断用ゲートドライバ
- 定電流および定電圧レギュレーション
- CTRL ピンにより、10:1 のアナログ調光を実現
- 低いシャットダウン電流:<1 µ A
- 小型(4mm×4mm)16ピン QFN パッケージ

フォトキャプション:45V LEDドライバ

Copyright: 2007 Linear Technology

以上